

文化財ニュース いわき

第 61 号

平成 11 年 6 月 25 日

財団法人いわき市教育文化事業団

福島県いわき市常磐藤原町手這50-1
(いわき市考古資料館内)

TEL 0246 (43) 0391

姿をあらわした菊多郡の郡役所跡

こおりいせき
— 郡遺跡第 3 次発掘調査 —

古代の豪族が住んでいたという「長者屋敷」の伝説が残る勿来町窪田字郡は、古くから焼き米が出土する場所として知られていました。昭和40年（1965）年には福島県教育委員会と当時の勿来市教育委員会によって発掘調査が行われ、礎石建物跡が2棟みつき、重要遺跡として注目されていました。今回の調査は個人住宅建設に伴う発掘調査です。調査の結果、奈良時代の掘立柱建物跡の米倉がみつき、この地が菊多郡の郡役所跡であることがほぼ確定しました。



奈良時代の菊多郡役所跡（郡遺跡）

とじてお読みください。

西殿町遺跡



古墳時代から平安時代のムラ

応時遺跡



住居跡に残された土器

窪田城跡



窪田藩土方氏の居城（勿来第一中学校）

城下町



城下町の面影を残す町並み

くぼた 埋蔵文化財 まっぷ



とじておきます。

国魂神社



大同元年（806）勸進の言い伝えがある

中央の図『くぼた 埋蔵文化財 まっぷ』をごらんください。町のあちこちに昔の人々の生活の跡（遺跡）が今も残されていることがわかりいただけると思います。多くの遺跡は土の中に埋もれているものですが、地名や昔の地形を残して姿を現しているものもあります。



地名でわかるくぼたの歴史

窪田の町には、城下町の名残を感じさせる地名が数多くあります。窪田伊賀屋敷くぼたいがやしきなどはその代表。このほか、西殿町にしどのちやう・馬場ばば・内城うちじやう・外城とじやうなど。

くぼたの町は遺跡の宝箱

さて、郡遺跡。地面より1mほど下から発見された米倉の跡。その下からは、縄文時代の敷石住居跡の発見。まさに窪田の町は遺跡の宝箱といえるでしょう。

郡遺跡



奈良時代の役所のイメージ

郡遺跡



発掘調査の様子

郡遺跡



倉庫の柱穴（1300年前）

郡遺跡



縄文土器（3500年前）

菊多郡役所の米倉の跡（奈良時代）



米は古代の税金です。今回調査した場所は郡内から集めた税金（米）をしまっておく倉庫が立てられていた場所でした。人が立っているのが柱の跡です。

縄文時代の石敷きの家の跡



郡遺跡からは今から3500年前の石敷きの家の跡がみつかりました。一部を奈良時代の柱の穴に壊されています。石敷きの家はいわき市では2例目の貴重な遺構です。